

東海自然歩道を歩く

高尾山口から相模湖まで

2012年4月21日(土)

【メンバー】浜口(L)、上岡、岡田、斉藤(幸)、斉藤(光)、坂井、中道、名倉、萩原、古林、ゲスト(1名)

【コースタイム】

高尾山口 9:00-9:34 金毘羅台-9:57 ケーブル山上駅(名物の天狗焼きを食す)-11:00 高尾山山頂
 -11:42 一丁平(行動食タイム)-12:07 城山(大休止)12:34-13:42 茶屋
 -14:43 相模湖駅(国道20号沿いの小原本陣前経由)

記録(その1):中道

浜口さん提唱の、会山行「東海自然歩道を歩く」が〇年先の大阪到着を目指して始まった。
 記念すべき第1回はあいにく曇り日で、肌寒い。参加者11名は定刻より早く混雑する高尾山口に集合、意気込みはすごい。早速浜口夫人からガイド資料をいただく。

高尾山のガイドのボランティア上岡会員の先導で歩き始める。ガイド1組の上限10名のぎりぎりである。

9:00 東海自然歩道起点を発つ。



(写真:東海自然歩道起点にて)

いきなり急坂の舗装路、早速花の説明をいただく。

詳しく、熱心な人が多く、上岡ガイドも熱が入る。それにしても花だけでなく、博学である。
 舗装路を外れて山道へ。

9:34 金毘羅台



(写真: 目薬の木の巨木)

9:57 ロープウエー駅

名物の天狗焼きにご機嫌。

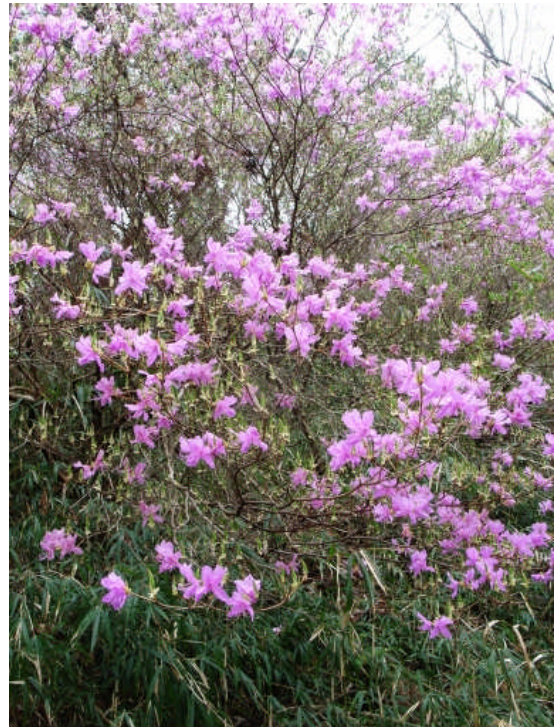
ここから山道(4号路)に入る。冬期は難しい道とのこと、今は新緑が映える。



11:00 高尾山(山頂)

上岡さんから迷子にならないように注意を受けるくらいの混雑。眺望は利かない。

ここから満開の桜やつつじを愉しむ。



11:42 一丁平

12:07 城山 うまく空いたベンチで昼食。

12:34 発

くだりは結構厳しい。

何人が滑ったところで 13:42 下山

家々の庭がよく手入れされ、花が美しい。



13:54 国道 20 号

しばらく歩いて相模川谷底近くの弁天橋まで降りる。



ここで右岸側に渡らず、急坂を登り返し再び国道に出る。



14:17 国道

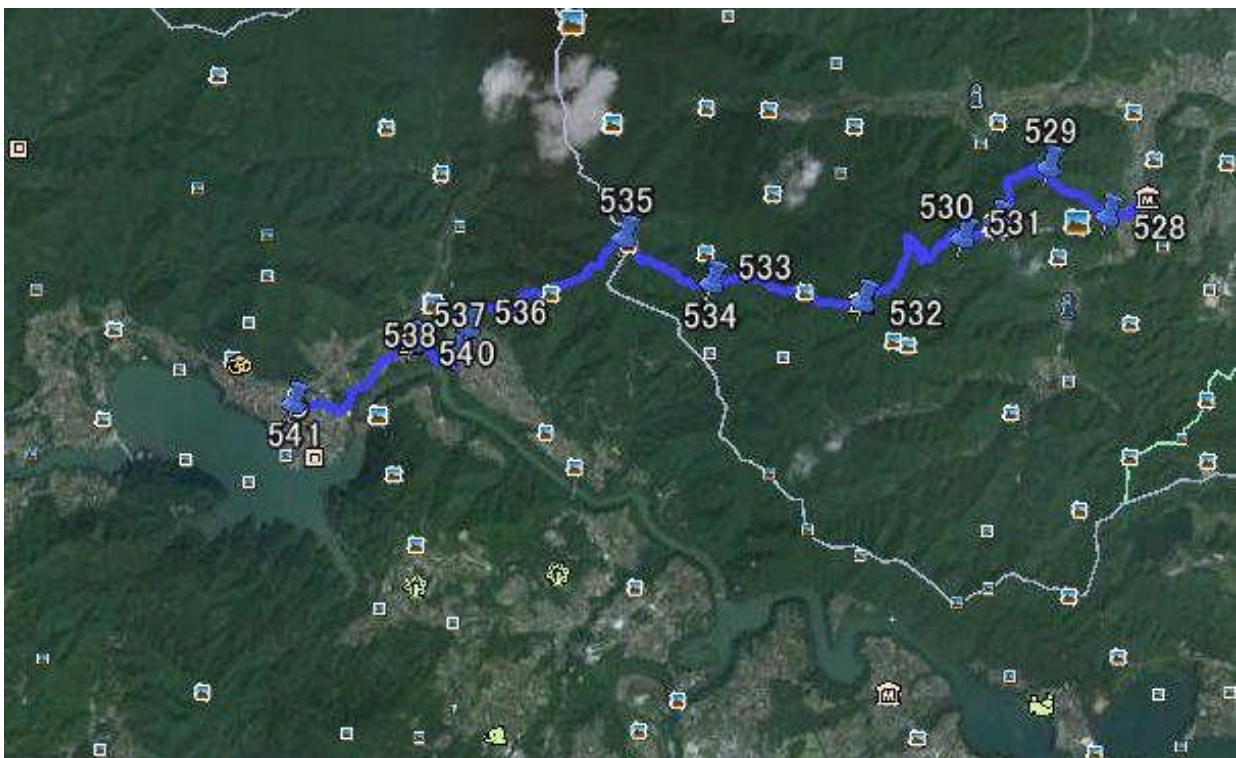
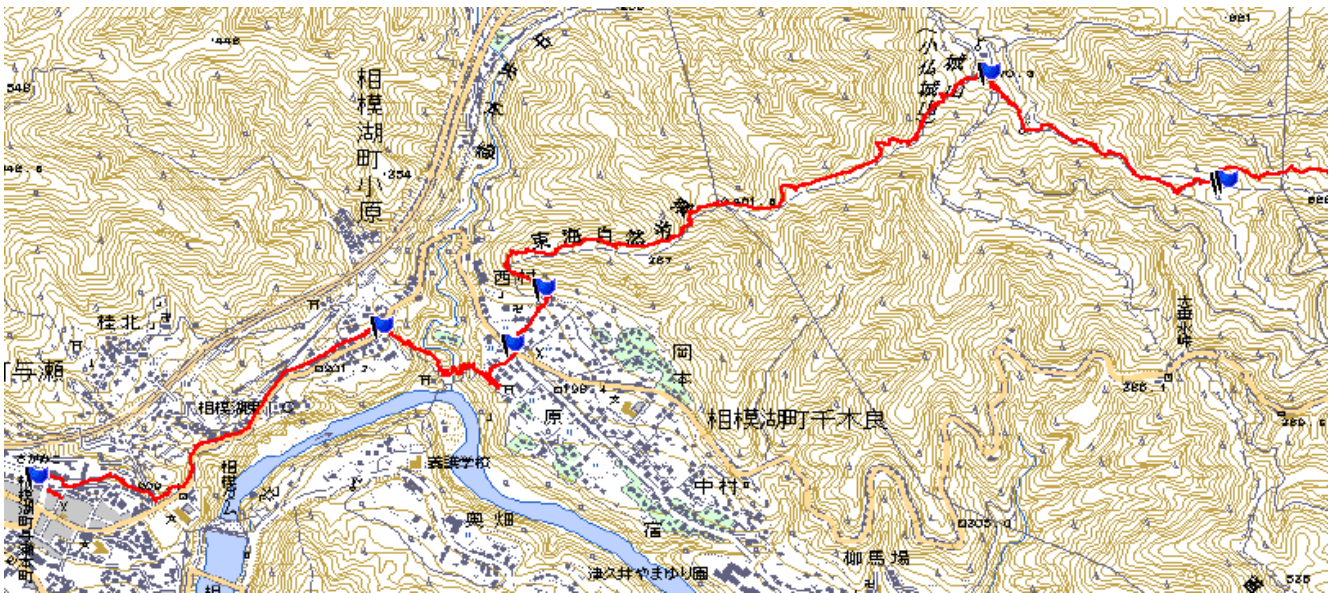
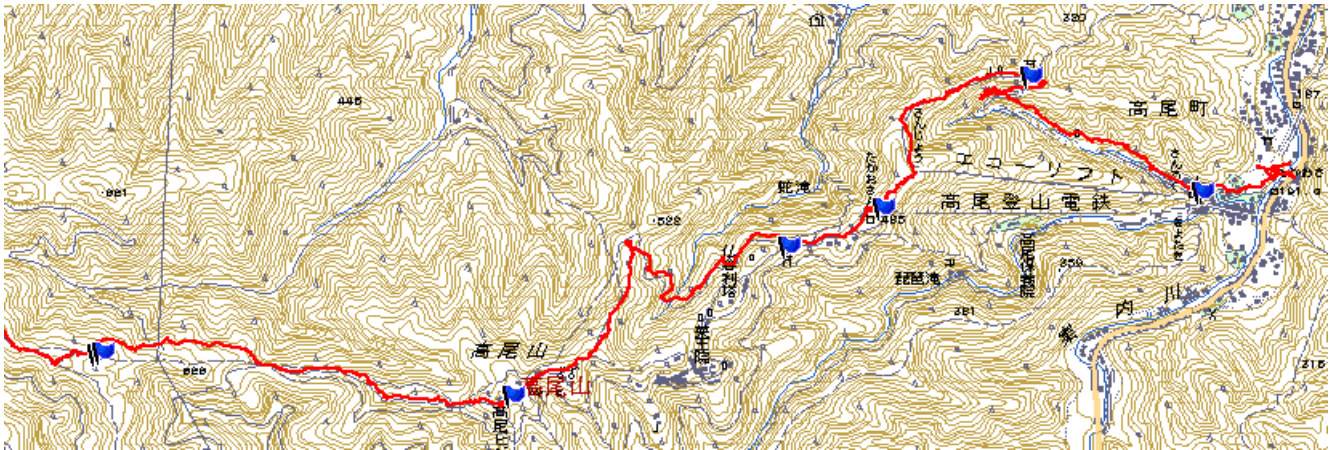


来月はこの尾根登りから

14:43 相模湖駅



来月ここでまたお会いしましょう



記録(その2):浜口

シリーズ企画『東海自然歩道を歩く』(全長1,697km)を開始しました。

何年かかるのか、また何名の方が全ルート踏破を達成されるのか分かりませんが、発起人として可能な限り、交流山行・個人山行で計画をご提案していきたいと考えています。

その第1回目として、東の起点である高尾山口から相模湖までを計画し、会員9名とゲスト1名にご参加いただきました。

天気は曇りで雨の心配もあったのですが、雨に降られることもなく、少し肌寒いくらいでハイキングを楽しむには調度良いコンディションでした。

小仏城山を下り終えるまでは、高尾周辺の公認ガイドをしておられる上岡さんに先導とガイドをお引き受けいただき、たくさんの花、高尾山周辺の豊かな自然や歴史について学ぶことができ、高尾山を再認識しました。上岡さん、ほんとうにありがとうございました。

それにしても高尾山は、お花満開の今回の時期と秋の紅葉の時期が良いとは思いますが、やっぱり混んでます。人気の山なので仕方ないですが、一丁平まで足を伸ばしても、ちょうど山桜が満開だったこともあり、花見宴会で盛り上がってるパーティも多く、休憩用のベンチも順番待ち状態でした。

ところで、今回は貴重なタカオスミレも観察できましたが、上岡さんによると、高尾山の山頂周辺で見られるシモバシラ(植物)も一見の価値ありとのこと。シモバシラの花が咲く9月に今回のコースを再度計画できれば、と思っています。

小仏城山を下り国道20号に出てからの最後の詰めで、弁天橋を渡って相模湖大橋から相模湖駅というのが本線ルートなのに小生が分岐を間違え、小原本陣前を通るルートから相模湖駅到着となってしまいました。参加していただいた皆さん申し訳ございません。今度歩くときは、ちゃんと弁天橋を渡りたいと思っています。

東海自然歩道踏破には長い年月がかかりそうで、小生も全ルートを計画できないかも知れません。しかし会員の皆さんが歩かれた区間を埋めていけば、会としての全ルート踏破は必ず達成できると思いますので、山行や旅行のついでに東海自然歩道を少しでも歩かれたら、発起人である浜口には是非ご一報ください。そうした情報も含め、全ルート踏破を目指すみなさんのための参考となるような資料をまとめていきたいと考えています。

会員の皆様の本企画へのご参加・ご協力をお願い申し上げます。